

## 「あらえびすの会」コンサートのご案内

「あらえびすの会」は、野村学芸財団奨学生の卒業生の会「堂子会（どうしかい）」が主催するコンサートです。野村学芸財団は、『銭形平次』の作者として有名な野村胡堂（本名：野村長一）によって、東西文化の融合を掲げて1963年に設立され、1,000人を越える奨学生を世に送り出しています。そして、財団は設立60周年を迎えています。

胡堂は、“あらえびす”のペンネームで音楽評論家としても活躍し、その草分け的存在でした。かくして奨学生には、東京藝術大学を首席で卒業した学生が多数います。「あらえびすの会」コンサートは、財団に少しでも恩返しをしたいという卒業奨学生の思いを結集して、我が国トップ級の音楽家の出演により1982年から27回にわたり開催され、その収益は財団へ寄付されています。

日本屈指のレコード収集家であったあらえびすは、名盤を解説した著書『楽聖物語』（1941年）の中で「『クロイツェル・ソナタ』はおよそベートーヴェンの作品中でも妖艶華麗極まるものだ」と語っています。また、ラフマニノフの演奏・楽曲にも多数言及していますが、それらはレコードで聴くしかありませんでした。そうした西洋のクラシック音楽を生演奏で、そして同時代に活躍した宮城道雄の邦楽作品とともに、「あらえびすの継承」という願いを込めて、東京藝術大学ゆかりの“旧奏楽堂”において皆様にお届けします。

野村学芸財団理事・堂子会副会長・第28回あらえびすの会実行委員会代表

石川義憲

「あらえびすの会」公式サイト <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~araebisu/>

### 【会場アクセス】

#### 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂

東京都台東区上野公園8番43号

TEL 03-3824-1988

JR山手線 上野駅（公園口）徒歩10分

台東区循環バス（東西めぐりん） 旧東京音楽学校奏楽堂 下車

※駐車場はございません



# 第28回あらえびすの会コンサート

あらえびすの継承

野村学芸財団 堂子会 野村学芸財団 設立60周年記念

カタクリの花

野村胡堂・あらえびす記念館にて撮影

胡堂がふるさと楽波時を懐かしみ詠んだ歌

「故郷の 春日の正に かたくりの  
むれ咲くころの なつかしきかな」